

人形峠環境技術センター 総合管理棟火災に係る現地確認（第1回）結果

令和2年1月4日
鳥取県危機管理局原子力安全対策課
三朝町総務課危機管理局

- 1 日 時 令和2年1月17日（火）午前9時15分～午前10時10分
2 場 所 人形峠環境技術センター（岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550）
3 確認者 鳥取県職員2名、三朝町職員1名
4 対応者 人形峠環境技術センター 安全管理課長ほか
5 内 容

（1）背景

11月9日（月）9時7分頃、人形峠環境技術センター総合管理棟1階操作室（放射線施設の非管理区域）のエアコン工事に係る分電盤の検電中、短絡（ショート）により火災を生じた。この火災によるけが人、環境への影響や事故の拡大はなかった。

県及び三朝町は、翌10日にセンターから火災発生の状況等について報告を受け、17日に「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターウラジオロジカル保全等に関する協定」第10条に基づく現地確認を合同で実施し、関係者への聞き取り、現場確認を行った。

（2）確認内容

火災の発生状況と当日の対応、県及び三朝町への報告後の調査状況、環境への影響なしと判断した理由等について、当日の現場担当者等から聞き取り、書類の確認を行うとともに、火災の状況を発生現場で確認した。

（3）確認結果

- 火災は総合管理棟1階操作室のエアコン工事中に分電盤で発生した。分電盤の検電を行う際、電源が落ちていない状況で検電を行い、短絡（ショート）による分電盤内の溶融、発煙、焦げ跡が発生した。
- 火災発生後速やかに現場責任者が現場の安全を確認し、既定の手順に従い公設消防に通報を行った。公設消防は到着後の現場確認で火災（建物ぼや火災）と判断し、同時に鎮火を確認した。
- 火災の原因は、作業前ミーティングで電源を遮断してから検電を行うことを事前に確認していたが、確認が曖昧だった可能性がある。原因の究明については、現在センターが作業員から聞き取りを行うなどして調査中である。
- 火災は放射線施設の非管理区域で発生したが、延焼もなかつたため、環境への影響や事故の拡大はなかった。
- センターでは速やかに原因究明と再発防止対策をとりまとめるとしている。また、過去の火災の事例もあり、再発防止に向けて水平展開するとしている。

[参考] 事象の経過（11月9日）

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 当日前 | 工事関係者が現場に集合し、作業前ミーティングを実施 |
| 09:07 | 作業開始。最初の段階で火災を発生 |
| 09:10 | 現場責任者が安全を確認し、安全管理課長に連絡。119番通報 |
| 09:23 | 県及び三朝町への第一報（けが人なし、被ばくなし、環境への影響なし） |
| 09:30 | センターが現地対策本部設置を設置 |
| 09:40 | 公設消防が総合管理棟に到着し、現場確認を開始 |
| 09:42 | 公設消防が火災（建物ぼや火災）と判断。同時に鎮火を確認 |
| 10:13 | 県及び三朝町への第2報 |
| 10:53 | 県及び三朝町への第3報 |

資料1 人形峠環境技術センター 敷地配置図

